

## 《社会福祉法人 仁育会 経営理念》

地域との連帯を深め信頼される社会福祉施設としての確立と、安心と安全を守るゆとりある生活支援を目指します。

## 《青梅療育院運営方針》

1. 利用者から安心されるサービスの提供
1. 生活の安全を守るサービスの提供
1. 要介護度に応じた適切なサービスの提供

### 1月の行事予定

- 8日～ 塩船観音初詣  
21日（火） 2階理美容  
28日（火） 3階理美容



### 2月の行事予定

- 3日（月） 節分豆まき  
18日（火） 2階理美容  
25日（火） 3階理美容

日付未定・・・焼き芋大会



## ■ 信頼される福祉施設の向上を目指して

いま高齢者福祉介護の現場は、必要最低限の介護サービスを維持していくことが危ぶまれるほど「介護人材不足」が深刻な課題となっています。

2030年には要介護高齢者が800万人に達すると予測されており、それに対して必要な介護従事者は現状においても100万人が不足していることから、高齢者の社会保障施策において、介護人材の保全・育成を確立していくことが緊急の大きな課題とされています。

この一つの原因としては、介護保険法にもとづく国の施策でありながら、事業運営は民間に全責任を負わせる方式であり、介護報酬単価が厚生労働省の介護保険運営委員会において決定されるために、国民から徴収する介護保険料の増額が簡単に出来ないことから、限られた介護報酬財源の範囲で人件費が限定されてしまうために、人事院の勧告による国家公務員の昇給改定が行われても、介護事業には全く連動されないことにより、人材確保の不足が続いている原因となっています。

国が定める介護報酬の単価改定は3年に一度、厚生労働省の諮問機関である社会保障審議会介護保険部会において検討され、その結果に基づいて改訂が行われていますが、急激な高齢化によって社会保障財源の異常な伸びに、国家財政が対応できず、改定のたびに介護報酬単価は極めて厳しい状況に置かれることになり、介護職員の賃金改善を図ろうとしても、国家公務員並みの増額は極めて困難な実態となっています。

社会福祉法人は税法上、事業収益や固定資産については非課税とされていますが、基本となる介護報酬単価の算定基準における人件費割合が、国家公務員給与の60%となっているため、給与改善の大きな課題となっており、これが人材不足の根源となっています。

さて高齢者には住み慣れた地域で、できるだけ長く暮らし続けることを目指していくために、介護サービスの充実が望まれますが、介護人材不足のために全国では約半数の社会福祉法人が、これに添えていくだけの余裕がないと指摘されており、国民のニーズに添えていくためには介護人材の充実を図り、常に安定した事業運営ができるよう、社会福祉法

人が一体となって良質な介護サービスに貢献していくよう努力していかなければなりません。

高齢者介護は以前3k（きつい、きたない、きけん）の職場と言われていました。この風潮が若い年代層から敬遠される一つの原因となっており、これが職員不足の原因ともなっているようですが、当施設におきましては職員の中には「とてもやり甲斐のある仕事」だと、強い信念を持って真剣に取り組んでいる者も多く見られます。このように施設の責任ある立場にいる者が、高齢者介護の重要性、必要性、責任感を十分に職場全体に浸透させていくことによって、堅実な介護業務の運営が果たせるよう、更に頑張っまいります。

理事長 宇津木 敏郎

## ダスキン塗り絵コンテスト

ご利用者様がダスキン塗り絵コンテストで入賞されました！！



## 御嶽玉堂美術館

御嶽玉堂美術館に行ってきました。  
12月にもかかわらず木々は未だ紅葉してました。



# CHRISTMAS MARKET

Merry  
Christmas

12月19日はクリスマスマーケットを開催しました！  
ケーキバイキングとクリスマスプレゼント！！今年も楽しい時間を過ご  
しました！（^^）！

